

道の駅プロジェクトチーム

かまどベース 構成員 27名（令和2年9月3日現在）

組織の目的

- 釜戸の地域活性化を目的として活動する。道の駅を地域と結ぶプラットフォームとして様々な使い方、事業を生み出す。
- 地域の商品開発や、道の駅発着を想定したウォーキングの企画など地域を支える新しいビジネス創りなどを行う。
- 道の駅の使い方について市へ提案する。

経過

- R2.6.24 釜戸町地域整備委員会で区長会の特別委員会として承認
- R2.6.27 第1回 ツキイチ開催 参加 20名
鳥肌ウォーキングと森の中話し合う集い
場所：自然ふれあい館、竜吟の森
- R2.7.6 メンバー投票によりチーム名を「かまどベース」に決定

期間

道の駅開駅後も運営団体として活動予定

具体的活動

- 月に一度の話し合い「ツキイチ」を開催し、釜戸の魅力を体験し釜戸のコンテンツにできないかを話し合う。
- 未来のビジョンを創るため、どんなイベントを戦略的に行うか、道の駅の場所に何を求めていくのかなどを話し合う。
- 一般向けのイベントを開催し、テストマーケティングを行いながら実績を積み、道の駅開駅時にそのまま道の駅を活かしたコンテンツとして実行可能なものとする。

資料 8

【かまどベースの構成】

会長（釜戸町区長会長）
見守り役員（4名）
事務局長
事務局

チャレンジチーム	(名)
ジェラート開発	2
クラフトビール	1
野外フェス	1
イベントサポート	1
パークラン	1
R V パーク	1
トマト農家	1
チームサポート	9

トライチーム	(名)
自然ふれあい館	2
丸森	1
大湫機械化営農組合	1

瑞浪市道の駅プロジェクトチーム

みまもり役員チーム

命令ではなくやる気をひきだす！

チャレンジチーム

酪農製品づくり隊

やりたいことプランナー

やりたいことサポーター

〇〇隊

やりたいことプランナー

やりたいことサポーター

〇〇隊

やりたいことプランナー

やりたいことサポーター

施設トライチーム

自然ふれあい館チーム

やりたいことプランナー

やりたいことサポーター

〇〇隊

やりたいことプランナー

やりたいことサポーター

〇〇隊

やりたいことプランナー

やりたいことサポーター

トライ & アジャイル！

やってみて改善しよう！

クイック & イージー！

小さくても簡単にやってみよう！

地域ビジネス化！

利益が生まれる仕組みを創ろう！

これがやりたい！こんなまちにすみたい！を言ってみよう

チームをつくろう！

道の駅で活用できるイベントを企画してみよう！

次はこうやってみよう！

道の駅を生かしてこんなことをしてみたい！

施設ごとにヒアリング、何ができるか考えてみよう

まずはコミュニティを拠点としてやってみよう

次はこうやってみよう！

未来のビジョンを創ってみよう！

何ができるか。何を目指すか。

どんなイベントを戦略的にやっていくか。

チームをどうまとめていくか

この場所に何を求めていくのか。

プロジェクトチーム全体で協議

基本計画策定

基本設計

詳細設計

土地造成

建築

よろずやの使い方

店舗提案

魅力的商品

商品づくり

運営会社の設立

運営団体づくり

道の駅開駅

道の駅を支える新しいビジネスづくり

まち全体の活性化

施設連携

イベント広場の活用

イベント開催（マルシェ等）



水晶山鳥肌ウォーキング

道の駅→自然ふれあい館→森の幼稚園
アコースティック&鳥の声
ビール&ランチ
ハンモック + 本貸し出し + アスレチック
ロッククライミング体験



平山高原牧場体験・ジェラート



野外フェス・マルシェ



私たちがつなぎます！



道の駅プロジェクトチーム



丸森
ウォーキングと連携



リバーサイドパークラン



竜吟湖ほとりキャンプ
星空ウォッチング

RVパーク

釜戸の温泉でほっこり

竜吟コイン



釜戸の地ビール
釜戸の言い伝えをビール化